

【世安町】地域の要望により
事故が起きた現場に
カーブミラーを設置。



活動アルバム

私が日頃、どのような活動をしているのか
その一部をご紹介します。

【出水中学校】地域の要望により
体育館隣の道路改修。
歩行者も自転車も安全に
利用できるようになりました。



【水前寺競技場】
今年もアメフトのイベント
『ぎんなんボウル』を楽しみました。



【南熊本】消えている横断歩道の
整備には県警との協議が必要
ですので、少々時間を頂きます。



高本一臣議会だより

政清人和 2022年〈秋 臨時号〉
SEISEI JIN WA

高本一臣 事務所

〒862-0958 熊本市中心区岡田町5-1-102号 Tel.096-223-5480 Fax.096-223-5482
(Eメール) Wakideruchikara@gmail.com 〈ホームページ〉 <http://takamoto-k.com>

市政についてのさまざまなご意見・ご要望をお待ちしております。

後援会ご加入のお願い

主に、後援会活動や議会だより発行の経費等に使用させていただきます。勿論「議会だより」はもとより、その都度いろんなご案内をさせていただきます。毎年毎の更新となりますが、ご協力頂けます方は高本一臣 後援会事務局までご一報ください。

お振込先

後援会【年会費】
一口 2,000円

郵便局 01770-4-137793 高本一臣後援会
肥後銀行水前寺支店 普通口座 1648898
高本一臣後援会 代表者 高本一臣

お振り込みは、銀行・郵便局のどちらでも構いません。

高本一臣議会だより

政清人和

S E I S E I J I N W A

2022

秋 臨時号

熊本市議会議員の

高本一臣 です。

たかもと かずおみ

暑い、暑い日が、長く長く続いた今年の夏。
皆様方におかれましては熱中症対策と同時に、
コロナ禍で行動も制限され、体調管理にご苦労
なされていることと察します。

ご承知のとおり、新型コロナウイルス「第7派」
は、感染者数が爆発的に増えましたが、緩やかな
減少傾向になりつつ、重症者数も減ってきている
状況です。

私たちは、これからメリハリのある感染対策を
講じ、「社会経済活動の維持と医療の逼迫の回避」
を両立しながら、ウィズコロナからアフターコロナ
へと新しい生活様式に少しずつ慣れ、実行していかな
ければなりません。

これからも、より一層大切な情報をより早くより
正確に、市民の皆さまに発信しながら、安心して暮
らせる生活を取り戻してまいります。

3期目の任期も残すところ8ヶ月となりましたが、
使命感を強く持ち、市政の課題解決に向けて挑戦して
まいります。ご指導の程宜しくお願い致します。



Profile 高本一臣プロフィール

- | | | |
|-------|-------------------|--------------------|
| 1964年 | 山都町生まれ | ・防衛議員連盟会員 |
| 1999年 | 参議院議員・木村仁
公設秘書 | ・政令市木材利用促進協議連幹事 |
| 2007年 | 衆議院議員・坂本哲志
秘書 | ・熊本ヴォルターズ支援議員連盟幹事長 |
| 2011年 | 熊本市議会初当選 | ・ロアッソ熊本支援議員連盟 |
| 2019年 | 3期目当選 | ・市交通指導員白山副支部長 |
| | | ・白山消防団団員 |
| | | ・白山校区スポーツ協会地域指導員 |

- ・熊本自民党市議団(最大会派)政調会長
- ・庁舎整備特別委員会委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・都市整備委員会委員

【政清人和】「政(まつりごと)清ければ人おのずから和す」出身地でもある旧清和村の村名は、この2文字を得てつけられました。私の政治信条です。

1 第4回アジア・太平洋水サミットについて

第4回アジア・太平洋水サミットが4月に行われました。市民74万人の水道水を全て地下水で賄う、世界でも稀な「地下水都市」熊本市。水問題に対する熊本市の取組みは、これから更に注目されることだと思いますが、今回のサミット成果を後世に継ぐためにも、今後どのようなことに取組まれるお考えでしょうか。

【答弁者：市長】

サミットの成果を一過性のものとせず、レガシーとして後世につなげていくことが非常に重要と考えている。特に高い評価を受けた若い世代の活動をさらに発展させるため、地下水保全活動を世代から世代へと受け継ぐ仕組みづくりに取り組んでまいりたいと考えている。

2 「令和の黒船」TSMC進出について

昨年12月の質問において「TSMCの熊本への進出は、千載一遇の好機」と答弁を頂いており、その取組みについては、順調に進んでいるのか全く見えてこないのが気がかりであります。TSMCのPT(プロジェクトチーム)設置から6ヶ月が経過しようとしていますが、どの程度進捗しているのかお尋ねします。

【答弁者：経済観光局長】

TSMCの進出計画を受け、課題に応じて戦略的な土地利用検証、人材確保・育成、国際交流・広報、交通課題対策、住環境対策の5つのPTを設置しており、情報収集を行いながら短期・中期・長期のそれぞれの段階に応じて取組むべき施策の検討を行っているところ。今後も関係機関と連携を図りながら、今回の進出を将来のまちづくりを見据えた好機と捉え、取り組んでまいります。

3 進出に関する課題について

TSMC進出に熊本が選ばれた理由の一つに、「水資源」が豊富な地域であることだと言われています。半導体の生産には純度の高い超純水が大量に必要となり、熊本の地下水への影響が心配との声を聞きます。活用と保全を行いながら、地下水マネジメントの必要性が重要だと認識します。本市の生活水にも影響があるのではと気になるところでありますが、お尋ねします。

【答弁者：環境局長】

熊本県地下水保全条例に基づき採取の許可が必要。事業者は地下水採取による周辺の水位低下がないことを事前に確認するとともに、許可申請の際には節水や循環利用、涵養等に関する計画も提出することになっています。TSMCでは4月の立地協定調印式において、水の循環利用や、地下水涵養などの保全対策に取り組むことが発表されている。工場予定地は、本市地下水の重要な涵養域であることから、涵養対策などが着実に実施されるよう、熊本県及び、くまもと地下水財団と連携してまいります。

4 おでかけICカード（旧さくらカード制度）の方向性について

70歳以上の人口は増加しているものの、旧さくらカードの利用件数及び利用金額は減少傾向にあります。制度開始から25年以上が経過しており、この事業の在り方については令和に入って一度も協議(検討)がなされておられません。(旧さくらカード)が持続可能な制度を維持するためには、その在り方を検討しなければならぬ時期ですが、方向性についてお尋ねします。また、この事業の負担割合は、現在コロナ禍で利用者が激減しているため、事業者負担を引き下げ、本市の負担を5割から6割に引き上げています。この間の本市の負担額と負担割合の構成はいつまで続くのか、お尋ねします。

【答弁者：健康福祉局長】

新型コロナウイルス感染症の拡大により高齢者の外出機会が減少し、おでかけICカードの利用も激減していることから、昨年度はICカードの利便性向上に向けた検討を行い、今年度より、さくらカードのおでかけICカードへの一本化及び、障がい者用カードの市境バス停における自動精算化を実現したところ。市の負担総額は、令和2年度が約3億9,600万円、令和3年度が約4億1,900万円となり、令和4年度は5億1,700万円を見込んでいます。今後も、本市全体の施策展開を進める中で、負担割合も含め制度の在り方について引き続き検討する。

5 衝撃の「18.57%」今後の投票率向上対策について

5月29日に投票開票された熊本市1区(中央区・東区・北区)の県議会議員補欠選挙の投票率が「18.57%」と、過去最低の結果となりました。突然の選挙だったとは言え、その数字は衝撃的でした。理由は様々だと認識しますが、選挙には常に多額の税金が投入されます。今回の補欠選挙でも、本市では13,500万円の予算が組まれました。投票率向上の対策はこれまでも様々講じてきましたが、新たな試み・具体的な対策があれば教えてください。

【答弁者：選管事務局長】

投票率向上に向けた新たな試みについては、7月10日に執行される参議院議員通常選挙で、大型商業施設ゆめタウンはまさに、2日間、熊本市全区を対象とした期日前投票所を開設する。幅広い世代の方が多数利用される当該施設に開設することで、選挙への関心を高め投票率の向上につなげてまいります。南区では、若年層への選挙の理解と啓発を目的として、参議院議員通常選挙当日投票所の事務補助に、13名の大学生を雇用予定。若い世代の選挙への関心度を高め、投票率の向上に努めてまいります。

6 区役所への職員配置基準について

ある区長が「区役所の人事配置は、新規採用職員の配置先である一方、子育て中で残業のできない職員や昇任が選れている職員の配置先であるため、本庁職員と比較すると、自主学習・業務改善ともに低い結果となっている」と資料に掲載されました。このような区役所の人事配置が事実であれば、本市の差別的な職員配置は、法への抵触や社会通念上の常識を逸脱しているのではと懸念します。また、区役所職員は本庁職員と比較して劣っているかのような部下を中傷したとも受け取れかねません。コンプライアンス上、見逃せない事だと認識しますが、区役所への職員配置は区長が述べたような基準で本当に行われているのか、見解を求めます。

【答弁者：総務局長】

職員の人事配置は、本市の業務を効率的に遂行し目的を達成するために、職員の専門性やキャリアなど、能力や特性を見極めつつ適材適所に配置する人事マネジメントの一つで、組織や職員の希望も聞いた上でジョブローテーションを考慮しながら行っているところ。また、新たな人材の採用も大切な人事配置の一つで、可能性を秘めた人材を迎え入れ、様々な部署に幅広く登用することは、将来に向けた市政運営にも欠かせないものと考えている。このような考えの下、組織の目的に応じた最適な人員の配置に努めているところであり、区役所と本庁とで異なる配置基準を設けているものではない。引き続き計画的で適正な人事配置に努めてまいります。

7 区長のマネジメントについて

新年度に、ある区長は職員に「本庁から来られた皆さんは、区役所の仕事は3ヶ月もすると能力の半分くらいでできるようになると思う。」または「残りの半分はワーク&ライフバランスや本庁に帰る時のための研修期間にしてもらったらいと思う。」と、訓示を述べました。この発言は区役所職員の士気が下がり、良い影響を与えないことは明らかであり、延いては区民の皆さんへのサービス低下につながるのではと懸念します。このような状態で区長として人事管理マネジメントが機能しているとお考えか、お尋ねします。

【答弁者：総務局長】

局長及び区長は、部長や課長を含む部下職員の指導、教育及び監督を行い、強い指導力の下、組織を統率することにより施策を推進し、目標を達成させる役割を担っている。また、各局・区において人事管理や人材育成を適切に行い、職員のモチベーションを高めていくことも局長・区長の重要な役割であり、議員案内の事案については、反省すべき点が多くあると考えておりまして、総務局として、これらが適切に行われるよう支援してまいります。

8 区長発言で市長に質問

人事管理とは組織の宝である人材をより効果的に活用していくために、規則や処遇を定めて適切に運用・管理していくことだと認識します。勿論、人事評価や人材育成も含まれるでしょう。本市での人事管理のトップは任命責任者である市長です。ここまでのやり取りについて質問を聞いて、市長の見解をお聞かせください。

【答弁者：市長】

局長及び区長には、職員一人一人の能力を高め、その能力を最大限発揮できるよう適切な指導や教育を行うことはもとより、職員が互いに尊重し合う、風通しのよい働きやすい職場環境づくりを求めている。特に、局長及び区長の発言については責任が重く、部下職員に与える影響も大変大きい。言葉は慎重に選び、誤解されることがないように十分に注意をする必要がある。今後も職員との意識共有を図り、職員が自らの役割を十分に果たすことができるよう厳しく指導を行い、任命権者としての責任を果たしてまいりたいと考えている。

